

ポリフェノールなどの食品成分による糖尿病などの生活習慣病予防、進展阻止

岩手大学農学部 応用生物化学課程 教授 長澤孝志

連絡先 E-mail: iptt@iwate-u.ac.jp

TEL: 019-621-6494

キーワード: ポリフェノール、糖尿病、生活習慣病

概要

現在、生活習慣病がメタリックシンドロームということで注目され国民をあげてその抑制が叫ばれています。そのためには毎日食べる食品が重要です。本研究では特に糖尿病や脂質異常症（高脂血症）に焦点をあて、岩手県産果実抽出物の糖尿病合併症抑制作用などについて成果をあげてきました。

シーズの特徴

ソバに含まれるルチン、プロシアニジンを多く含むヤマブドウ抽出物、カリン抽出物が非酵素的糖化反応（グリケーション）を阻害し、糖尿病合併症の原因となるグリケーション後期段階生成物（AGE）の蓄積を抑制することを見いだしました。ヤマブドウ抽出物については高ポリフェノール含量粉末を試作し、実用化を進めています。さらにその他の岩手県産農産物の有効成分について検討を進めています。



これまでの活用事例・技術移転

研究者からのメッセージ

機能性食品

参考情報: 関連特許 特開2007-131599 関連資料等 あり

問い合わせ先: 岩手大学地域連携推進センター E-mail: iptt@iwate-u.ac.jp

Tel: 019-621-6494